

6 およその大きさ

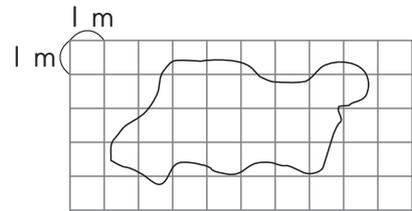
ポイント

およその大きさ 方眼を数えたり、およその形を考えたりすることで、複雑な図形のおよその面積や体積を求めることができる。

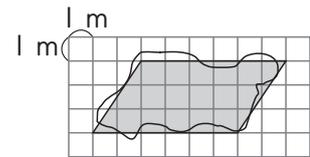
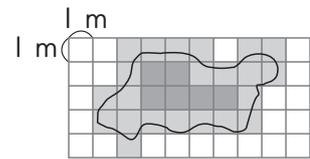
例題 1 およその面積

右の図のような形の池があります。この池のおよその面積を、次の2つの方法で求めなさい。

- (1) 方眼の数を数える方法
- (2) およその形を考える方法

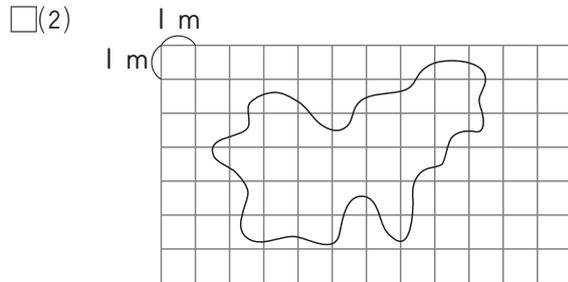
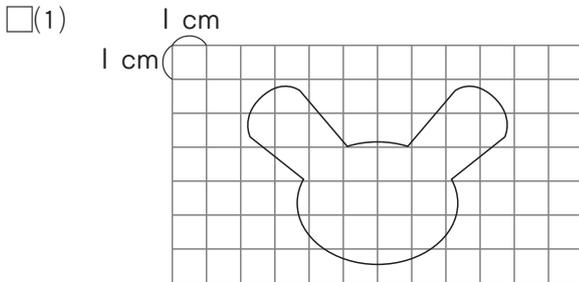


- 解き方** (1) 池のまわりの線の中に完全に入っている方眼(図の■)の数は6個、まわりの線にかかっている方眼(図の▨)の数は22個です。まわりの線にかかっている方眼は、面積が半分と考えると、 $6 + 22 \div 2 = 17(\text{m}^2)$ **答** 約 17m^2
- (2) 池の形を図のような平行四辺形とみると、底辺が6mで高さが3mだから、 $6 \times 3 = 18(\text{m}^2)$ **答** 約 18m^2



参考 求めるのはおよその面積なので、(1)、(2)のように、求め方によって答えが同じでなくてもかまいません。

1 下の図のような形のおよその面積を、方眼の数を数える方法で求めなさい。



2 下の図のような形のおよその面積を、およその形を考えて求めなさい。

